

## 「自己の人権感覚を磨く」見過ごさない自分に！

5月の「人権研修」は、どうでしたか？ 自分の行動を見直していく、そして差別解消に向けた行動を重ねていく・・・今回は、ブロック内で話し合う研修はできませんでしたが、常に自分に問いかけながら人権感覚を磨いていきましょう。

### 5月「人権研修」

見過ごさない・そのままにならない（傍観者の）自分にならないために  
実習・・・次のことに気づいたとき、なんと声をかけますか

【場面1】 Aさん、Bさんの口調がCさんだけに  
に厳しいと気づいた時

- ・ Cさんだけにキツイ言い方しているように聞こえるけど、何かあったの？
- ・ 何かCさんだけに口調きびしくない？
- ・ 厳しすぎん？ ・ それ、おかしいよ。
- ・ 気に入らないことがあるなら聞くから教えて。
- ・ 2人とも、何かCさんに怒ってるの？
- ・ (Cさんに)一緒に話そ、〇〇しよ！
- ・ ねえ、その言葉がもし自分に向けられたらどう思う？
- ・ もう少しやさしい言葉で言ったほうがいいんじゃない？

【場面2】 Dさんが座った時に、Eさん、Fさんが、  
Dさんから離れて座るのを続けて3度目撃した時

- ・ なんで、一緒に座らないの？
- ・ Dさんとなぜ離れて座るの？
- ・ なんでDさんを避けるの、なにか嫌なことあった？
- ・ あれ？どうしたの。Dさんも入れてあげて。 **あれ？**
- ・ Dさんも仲間に入れてくれないかな？
- ・ 一緒に話そ？
- ・ 3人でできることしよ。
- ・ (Dさんに)一緒に座ろ！
- ・ (Dさんの隣に座って)何かあったの？
- ・ Dさんと何かあったのかな？みんなで仲良くしようよ！
- ・ Dさんも一緒に話したそうだよ。



声をかけよう

願い

- ・ Cさんが嫌がっていることを伝えたい。
- ・ 自分が悪かったところに気づいてほしい。
- ・ 2人がCさんにも優しくできるよう解決策を一緒に考えたい。
- ・ 平等に接してほしい。普通に接してほしい。
- ・ 「それはだめだ」という立場で伝えたい。

- ・ Dさんが一人でないようにしたい。
- ・ Dさんも入って、みんなで楽しく話してほしい。
- ・ 何度も嫌な思いをしていることを放置せず早く助けたい。
- ・ 悲しい思いをしている子に寄り添うことが大切。
- ・ 自分がDさんの隣に座ることで雰囲気のを和ませたい。
- ・ 問題を解決する手助けをしたい。

研修を通して「人権」について考えたまとめの一部を紹介します。

### ■寄り添って関わる・見届ける

「見逃さない」ということは、常日頃から意識しておくべきことだと思いました。誰かが傷つく場面で、誰にも嫌な思いをさせずに指摘することは、すごく難しいことだと思います。でも、相手の立場に立って、優しく声をかけることが、今回のような場面をこれから作らないために大切なことだと思いました。寄り添って接し、関わったことは、最後まで責任をもって見届ける人になりたいと思います。 【高校生】

### ■いけないことは「いけない」とはっきり言える自分に

いじめや差別はささいなことで始まります。そのささいなことを見逃さないためにも、周りに目を向けて生活していきたいです。もし、いじめや差別があった時に、一番よくないのは、何もしない、何もできない傍観者です。そうならないためには、自分や周りに厳しく、いけないことは「いけない」とはっきり言える自分になりたいと思いました。 【中学生】

■「見逃さない」というキーワードを胸に

今回、ホーム研修をやってみて、傍観者にならないように、自分がどうすべきなのかよく考えることができた。今後、あってはいけないですが、あった時のために、助けたいという思いを持ち取り組んだ。人の気持ちについて改めて考えてみて、やはり気持ちを考えて動くということは、とても大切なのだなと思った。「見逃さない」というキーワードを胸に、困っている、苦しんでいる子がいたら、自分から助けたい。 【中学生】

■冷静に判断・行動

紙面上では、実際に起きていることではないから、冷静に考えて、どのように声をかければよいか判断できるけど、実際、自分の身の周りで起こったとき、同じように冷静に判断、行動ができるかと言われたら、難しいところもあると思った。でも、自分が過去に似たような体験をしたことがあるからこそ、傷つけている側の心に寄り添えることが少しはあると思うし、傷つく気持ちが分かるからこそ、自分が傷つける側にならないように、一つ一つの言動に気を付けなければいけないということ、相手がどんな理由があってその言葉や態度にしているかを考えなければいけないと改めて考えることができました。 【高校生】

■ 仲間とうまくやっていくために、自分のことだけでなく、相手のことを考えられる人になりたいと思いました。 【中学生】

■ 声をかけることは間違っていないので、積極的に声かけをし、全員が仲間でいられる環境を作りたい。 【中学生】

■ 実際にそのような場面があったら、やらなければ意味がないので、勇気を出して言えるようにしたい。 【中学生】

■ 傍観者のままでいたら絶対後悔してしまうから、その場面にあった言葉をかけるし、その言葉をストックしたい。 【中学生】

■ その人の間違った考えを正すために、差別について正しく説明することも非常に大切なことだと思いました。人権や差別について、知った気にならず、身の周りで起こりそうな差別から少し視野を広げ、今話題になっている差別問題にも目を向けていきたいです。 【高校生】

■ ホーム研修をしてみて、やっぱり実際に他のジュニアリーダーと話をしながら研修することがどれだけよいことなのか、改めて思いました。しかし、ホーム研修では、定例会ではあまり取り上げられない内容について取り上げられ、それについて深く考えるきっかけにもなるので、ホーム研修にも良い点があるのではないかと思います。 【高校生】



みんなで集まれるといいね。そして、いろいろな意見を交流できるといいね。

- 今回の研修ポイント
- 1 自分が伝える。「自分で間違いを説明する」
  - 2 時と場合に合う言葉かけ。
  - 3 見逃さない、放置しない。

7月

ブロック定例会【日時・内容・会場予定】

1ブロック	7月31日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	北青少年会館
2ブロック	7月24日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	青山青少年会館
3ブロック	7月17日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	中央青少年会館
4ブロック	7月24日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	青少年ルーム
5ブロック	7月17日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	長森コミセン